



校報

けむやま

矢巾町立煙山小学校
H29.7.14(金) 第6号
紫波郡矢巾町北矢幅 1-2
Tel.697-3163

忍耐・友情・勇氣

自分我・自分和我 ～5年生林間学校～

5年生の集団行動は見事。兜明神岳も無事登頂。頂上からの「ヤッホ!」に耳を澄ますと「やっほ!」とはっきりこだまが返ってきました。

野外炊事、「こんなに手際のいい5年生は初めてだ」と感心したのは引率の中村教諭。自分がの「我」を張ることなく、相手のことを考え自分はどうしたらいいかの「和」の心をもった自分和我の子供たちです。

だからこそ、ご飯がこげついても、カレー汁になっても、うまい、うまい。どの班も完食です。

「お～～、我は火の神なり」

林間学校のクライマックス。火の神の登場から始まるキャンプファイヤー。

火の神から。「忍耐・友情・勇氣」の3つの火を受けられ、木組に点火。空に舞う火柱を囲み、子供たちはゼスチャーゲーム、歌にダンスに大盛り上がり。

掃除よし、集合よし。笑顔よし。マナーよし。

水晶のように子供たちの良さがキラリと輝いた林間学校でした。

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

【林間学校 日程】

1日目

- 兜明神岳登山
- ベッドメイク
- 野外炊事(カレー・ご飯)
- キャンプファイヤー

2日目

- 清掃活動
- 水晶採取
- 散策(昼食)

高め合おう
礼節を重んじ美しく

吹奏楽コンクール 盛岡地区大会

金賞

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

遠く次を見つめる田中先生

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

ほっと一安心!

七月二日(日)、県民会館で行われた標記大会で、煙山小学校吹奏楽部が見事金賞、地区一位に輝きました。県大会は七月三十日、北上のさくらホールで開催されます。東北大会目指して頑張ります。てほしいと思

盛岡地区一位

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

まだまだこれから!

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

待ってる、東北! 全国!

命の大切さ ～寄稿文～

矢巾町教育研究所への寄稿文として、6年生の さんの作文が寄稿されます。交通安全と命の大切さを訴えるとても素晴らしい内容です。

命の大切さ
六年

この世に生きるものは、いつか必ず死を迎えます。人間も例外ではありません。身近な人が死ぬ場面にも必ず出会います。亡くなった人の家族は、とても悲しい思いをすることになります。もし、自分の家族だったらと思うとその悲しみは計り知れません。

こう考えるようになってきました。しかし、標識を守らなかつたり、油断して話をしてくれたことではない事故にあうとおもうた。歳を重ねるにつれて、ようになりまして。そして、「止まれ」の標識を無視して、最悪の場合、死にいたることも。

多くの悲しみを生み出す。私たちが本気で交通ルールを守らなければ、事故なんて自分ごとで思ってしまう。事故ゼロを目指して、た

ケムレゾジャー…その1

1年1組の徳田先生より
一昨日のことだそうです。帰り道、遊びに夢中になり水泳道具が入ったバックを道端に置き忘れた男の子。その水泳バックを見つけて家で洗濯して届けてくれた6年生のNさん。優しさいっぱいです。

ケムレゾジャー…その2

3年生の農園。暑い中でも休み時間に草取りを一生懸命やっている男の子たちがいました。とった草が山のように積まれてありました。「この草は別なところに移したほうがいいね。」言うやいなや、すぐに行動する優れ者。あっという間に移動完了。なんて働き者なんでしょう。

ケムレゾジャー…その3

いつもお母さんと一緒に歩いてきているひまわり学級のR君。元気な挨拶素敵です。R君と一緒に手を繋いでくれるS君、そして一緒に歩いてくれるNさんも素敵です。

矢巾町夏祭り

16日は、矢巾町夏祭りです。さんさ踊りに参加する皆さんもいます。おやじの会の屋台もあります。楽しいお祭りです。保護者の皆様におかれましては、子供たちが事故、事件にまきこまれないよう、くれぐれも安全にご配慮いただきますよう宜しくお願いいたします。

※特別支援教育NOW4 合理的配慮3は次回です。

「二倍返しの恩送り」

むかしむかし、ある山に、ひとりのお爺さんが住んでいました。◆このお爺さん、人と出会うたびに「この間はどうもありがとう」というのが口癖でした。◆通りすがりの人は、なにがありがたいのかさっぱりわからない人もいて、いつしかこのお爺さんを「ありがとう爺さん」というようになりまして。◆ありがとう爺さんは、人間だけでなく犬やネコにも言います。ネコは、「いったいニヤンのことだ」、犬は「ケンとうもつかん」と首をかしげながら通り過ぎます。◆このうわさがだんだん広まっていきました。とうとうお殿様の耳に入ります。◆そのお殿様は勉強熱心な立派なお殿様でしたので、ボンと膝を打ち、「それは二倍返しの恩送りというものじゃ」◆「人は物をもらったり、してもらったりする恩を受けたら、その時だけでなく、時をあらため、日をあらためて、もう一度お礼を言うものじゃ」「自分が気付かない所でも何かやってもらっていることがあるのが世の中」◆「いつもありがとう。昨日はありがとう」「そいつって挨拶すれば、皆仲良く暮らせるというものじゃ」◆「そう言う」と、ありがとう爺さんにこぼす話を聞くと、国中に見習うようにお話を聞きました。◆「めでたし、めでたし。◆「校長先生、この間のお話、二倍返しの恩送り、やってみます」◆二年生の女の子が廊下で伝えてくれました。たった一秒の恩送り、広まる